

## 令和元年度第2回教育課程編成委員会 議事録

1 開催日時 令和2年2月3日(月) 14:30~16:00

2 開催場所 にいがた食育・保育専門学校えぷろん

3 出席者

### 【外部委員】

蒲沢百合子(新潟県菓子工業組合 専務理事)

三島 茂 (新潟県司厨士協会 名誉会)

村松 寛喜(料亭一べ 料理長)

川上啓介(株式会社シュルプリーズ ルーテシアオーナーシェフ)

瀧澤 貴子(新潟県保育士会 副会長)

紅谷 裕美(新潟県保育士会 事務局長)

渡辺 龍太(株式会社 渡森 常務取締役)

### 【学校委員】

渡辺 忠雄(理事長)

渡辺 弘子(学園長)

出塚 彩 (校長)

近藤 一弥(教頭)

紫竹 武 (統括本部長)

堀 慶 (教務部長)

鈴木 潤 (製菓部長)

4 会議の内容

ア 学園長あいさつ

イ 報告 質疑 意見交換

### 【製菓技術科】

(鈴木先生)ナッペと絞りの技術向上を目指し1年生の授業回数を週1回から2回に増やした。内容も技能検定に対応し一定の向上がみられるが、スピード面は不十分で引き続き2年次も練習し改善していきたい。現場の仕事に沿った大きなミキサーの使用も後期の2年生の授業に取り入れ行い、実技テストでも行った。今後も学園祭で実践していきたい。火傷やケガについても引き続き注意していきたい。

(川上) ナッペの技術について 残念ながら 2 年生の研修生の方が前回の技能検定受験者より上手だった。現場では練習が必要だが強制的に練習できない状況で大変困っている。できれば学校の授業でマスターしてもらいたい。最初は大変だが基本ができれば後はほとんど技術が身につく。クリスマスの時期にナッペができないと仕事にならない。ナッペの自動機械は約 800 万円。機械も進んでいる。また現場では重い道具を持たなければならぬ場面も多々あり力仕事である。重く使いづらいが安全靴も必要だと思う。必要性については脅さないと危険性を分かってもらえない。危険性について若い人は先を読む力も必要。

(渡辺) 現場は人が足りなく機械導入や半完成品を仕入れて仕上げるだけのお店も多い。学園祭でも現場に合わせて半完成品を使う事も必要。

(蒲沢) 働き方改革は中小企業も対象 仕事の後の勉強も残業になってしまう。現場ではもっと技術を身につけてもらいたいが残業できない。人によって作業のスピードが違っていると問題がでてくる。今後栄養成分表示も義務化され一層現場の苦労は増加。新入社員が現場に就職して長く働けるように工夫していく必要がある。

(川上) 欲しい人材について 魅力ある人材が減っている 憧れだけでパティシエになって入ってきて付いてこれず挫折する人が多い。

#### 【調理技術科】

(紫竹先生) 教育方法の見直し 職業意識の向上が課題 今年には職業意識が低い学生が多い。えぶろんテラスで料理を販売することにより緊張感が実習中に生まれた。材料のロスも減った。ガス・水の無駄も今後なくしていきたい。授業では「何故」を意識させ丁寧に説明しながら説明したい。学園祭のレストランでも現場感を意識し衛生面を注意するよう指導していきたい。食育活動も学生はよく頑張ってくれた。今後先生方がミーティングを重ねエネルギーな質問も出てくるような授業を行っていきたい。

(三島) 外食産業で問題になっているのはフードバンク協力支援 食の廃棄をどうするか。昨年の日本の残飯 643 万トン 各家庭で 1 日 170 円食材を捨てているという事になる。結婚披露宴の廃棄率高い 23.6 パーセント 学校給食 6 パーセント。これからの料理はおいしいだけでなく如何に安全で高品質な商品を作り社会に貢献できるかがポイント。現場を見ていない事も今の学生の不足部分。工場見学すればすぐに分かる。浦佐駅の近くの工場は見学可能。先生方も食の業界の事をよく知る必要がある。

(村松) 先生ひとりひとりが違う これで良い。一つの目標を共有して指導していく。人づくりが一番大事。ゆっくりでいいから正確にできるように技術を身に付け、あとは経験を積むことが肝要。喜びと懸命さをもって学んでいてもらいたい。

欲しい人材像 人をリードする人が欲しい トップを目指すような気持ちを持っている人

### 【保育科】

(堀)県内県外就職の状況説明。今年度は全員が県内の保育園、幼稚園に就職した。今後も本人の意向を尊重しながら県内を勧めていきたい。1年生は11月に保育園実習、1月に施設実習に行っている。子供を預かる責任感を早く知ってもらい日々の学習の大切さを自覚してもらいたい。今後の具体的取組として基本的な生活や学び意識の向上、書類の書き方、ピアノのスキルアップ。

(瀧澤) 小さいこどもの見本になる事を学生に指導いただき安心した。他に衛生管理の概念をしっかり意識付けさせて欲しい。食中毒の予防 手洗いのやり方が身についているとげんばでは大変助かる。施設実習では受けていやになってしまう子がでないか心配。

(紅谷) 施設実習の必要性は非常に重要。保育園の子供の中に「気になる子」が必ずいる。障害を理解することは保育士としても非常に大事。実習日誌が大変なのは一人ではない。得て不得手は必ずあるが現場の先生方は頑張っている人は周りの先生が必ず助けてくれる。中途半端な気持ちでいい加減にやって欲しくない。

### 【全体】

(蒲沢) 製菓の就職状況について質問有 (県内7割 県外3割)

保育は給与面で関東との格差が大きく そこに魅力を感じて県外就職する。

(紅谷)関東では待機児童が多い 職員が増えれば受け入れできる子供の人数が増え経営面に大きく影響する為に求人に一生懸命である。

保育士の負担軽減が必要で今後分業が進む予定。

(紫竹)親の言うことを聞く学生が多い。やんちゃな子どもは少なくなった。

(三島)声の大きい事が一番。返事 挨拶が大事。

(紅谷)以前はモンスターペアレンツが世間で騒がれたが、今はカーリングペアレンツ こどもが失敗しないように導いていく親が多い。こどもは自分の事すべてを親任せで自分の意見がない。